

2020 年 9 月 7 日
株式会社フジテレビジョン

「FNN・産経新聞 合同世論調査」データ架空入力の調査結果について

フジテレビジョンと産業経済新聞社は、「FNN・産経新聞 合同世論調査」におけるデータ架空入力について 6 月 19 日に公表し、関連する過去の放送および記事を取り消しました。その後、本件に関して外部有識者を含めた検証チームによる詳細な調査を続けてまいりましたが、その結果が確定しましたのでお知らせいたします。

放送・記事を取り消した本調査 14 回の不正データの合計件数について約 2500 サンプルと公表しておりましたが、調査の結果、1886 サンプルだったことが判明しました。回答総数は 1 万 4636 サンプルで、不正データの比率は 12.9%でした。回答データのうち架電実績が確認できるもの以外は、すべて「不正入力」と判断しておりましたが、その中に、システム上のトラブルにより正しく再現されていなかったデータや、実際には架電実績のあるデータが含まれていたことが確認されたものです。

フジテレビと産経新聞は、調査委託先のアダムスコミュニケーション社およびアダムスコミュニケーション社が業務を再委託していた日本テレネット社に残存し、かつ検証が可能な本世論調査に係る全てのデータを収集・突合したうえで、この数値を最終的な調査結果と結論づけました。

報道機関の重要な役割である世論調査の報道で視聴者や読者に誤った情報をお届けした事を改めてお詫びすると共に、調査・検証の結果を踏まえて、引き続き再発防止策を策定し、世論調査の再開を目指します。